

## 令和6年度10月 理事会議事録

### I 概要

- 1 日 時：令和6年10月6日（日） 13：00～15：00
- 2 場 所：笠松運動公園アーチェリー場
- 3 出席理事：大谷、和智脩（補助：蒲沢）、横山（補助：和智利奈）

### II 議事要旨

#### 1 高校選抜

理事長および長谷川先生が詳細を詰めている最中であるが、協会が協力するにあたり以下の点は早期に決定するよう申し入れる。

- ① 畳と脚の借入数および借入日・返却日
- ② ①に関し、大谷さんの会社の車を使うなら早めに決める必要がある。また、ドライバー等も併せて決定しておく。
- ③ ゼッケンナンバーは協賛事業者が作成する旨の情報があるが、その場合に購入予定であったプリンターを予定通り購入するのか否か？
- ④ 賞状作成にあたりプリンターをどうするか？ A4サイズ以下であれば協会所有のレーザープリンターで対応可能。A4サイズより大きい場合は、A3プリンターの購入は難しく、筆耕を依頼する必要がある。
- ⑤ 会長にあいさつの依頼をしてあるのか否かが不明。会長は多忙であるため、可能な限り早く確定させる必要がある。
- ⑥ ボランティア（お手伝い）には確実に弁当は出せるのか（担当は高体連）？また、従来は交通費の支給（実費弁償？）があったようだが、今回も支給するのであれば早めに確認をし、アナウンスする必要がある。

#### 2 60m公認（スターバッチ申請）

- ・今年度はすでに公認試合の申請は済ませているため、県協会としては令和7年度に向けて対応を検討する。
- ・他の公認試合で実績がある場合、今年中に取りまとめて申請したい。  
Gフォームに60mの申請区分を加え、会員にアナウンスする。

#### 3 射場の運用見直し

- ・公園からは「公的機関として公平に貸し出す」のが原則とのことであった。
- ・公園側に改めて趣旨を伝え、可能なら行政財産貸付申請も視野に入れて交渉を継続する。

#### 4 10mバッジの取扱い

別途メールによる決を採ることとし、その結果を周知後に実施する。

#### 5 (仮) スポーツ教室

- ・前回理事会での討議結果をもとに検討したが、運営スタッフの人数などを考慮すると、2日間の日程として実施することが限界である。
- ・11月23, 24日(13:00~15:00)に規模を10人以内で実施する。
- ・公園主催のスポーツ教室と規模も人数も異なることから、参加費は総会議決の通り2,000円とする。
- ・名称は、総会決議にのっとりわかりやすさと公園主催のスポーツ教室との区別を容易にするため「アーチェリー入門教室」とし、終了後は協会に入り活動を継続することを前提として募集する。
- ・周知文等は和智脩理事が担当する。

#### 6 澄川氏からの依頼について

- ・提案を検討したいが、県協会とクラブとの関係において会員の親睦団体なのか独自の機能を持つ団体なのかなどが不明である。
- ・いわゆる「教室」についてもクラブと教室の関係、協会との関係が不明である。
- ・これらの基本的項目から整理する必要があるため、澄川氏にヒアリングを行うことを申し入れる。11月の理事会においては、高校選抜の準備等の議題がすでにあることから12月の理事会でのヒアリング実施を打診することとする。

#### 7 講師および招待選手の招聘について

- ・講師および招待選手の都合等から12月21, 22日を予定日としたい。
- ・高体連側も22日なら都合がつく。
- ・その場合、インドアの公認試合と月例会のスケジュール変更が必要になる。
- ・日程などを再確認し、確定したら会員に周知する。
- ・実施体制などを確定させるためにも審判経費等の残額を確認する必要がある。理事長が国スポから戻り次第調整する。

以上